

船舶事故調査報告書

平成25年7月25日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵男（部会長）
 委員 庄司 邦昭
 委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	不明（平成24年12月7日 19時20分ごろ～34分ごろの間）
発生場所	千葉県銚子市外川漁港 ^{とかわ} 港口付近 銚子市所在の外川港東防波堤灯台から真方位197°480m付近 （概位 北緯35°41.4′ 東経140°50.9′）
事故調査の経過	平成24年12月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{いしげ} 石毛丸、7.9トン CB2-60220（漁船登録番号）、個人所有 12.07m (Lr) × 3.50m × 1.31m、FRP ディーゼル機関、120馬力（動力漁船登録票による）、平成12年1月4日
乗組員等に関する情報	船長 男性 47歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和62年11月16日 免許証交付日 平成23年12月5日 （平成29年11月15日まで有効）
死傷者等	軽傷 1人（船長）
損傷	舵及びプロペラ曲損
事故の経過	<p>本船は、平成24年12月7日17時18分に発生した地震による津波注意報が発表されたことを知った船長が1人で乗り組み、船首約0.4m、船尾約2.0mの喫水で17時30分ごろ僚船と共に外川漁港を出港し、外川漁港南方沖約2～3海里（M）で漂泊して待機した。</p> <p>本船は、19時20分に津波注意報が解除されたので、帰港することとし、船長が、操縦席に腰を掛け、‘外川漁港の港口南方約500mに東北東から西南西方向に長さ約340mにわたって設置された消波ブロック’（以下「沖消波ブロック」という。）の西南西端の西方に向け、自動操舵で北東進を開始した。</p> <p>船長は、沖消波ブロック西南西端の周縁に沈下している消波ブロック（以下「本件消波ブロック」という。）の場所を表示するため、</p>

	<p>‘本件消波ブロック西南西端の西方に設置された黄色の閃光を発するブイ’（以下「本件ブイ」という。）を目視で確認しようと思ひ、塩分等で汚れた操舵室の前面上方の窓を開けようとしたが、塩分で固着して同窓を開けることができなかつた。</p> <p>船長は、本件ブイを確認できなかつたので、操舵室の機器台の下段に設けられたレーダーのレンジを3Mから0.25Mに、また、GPSプロッターの表示を外川漁港の港口付近にそれぞれ変更するため、かがみ込んで操作していたところ、本船が本件消波ブロックに乗り揚げ、乗り揚げた衝撃で頭と手を負傷した。</p> <p>本船は、離礁したが、舵及びプロペラを損傷して航行できなくなり、船長が携帯電話で僚船に救助を依頼した。</p> <p>本船は、風と波に圧流されて外川漁港東防波堤の東側の消波ブロックに漂着し、19時34分ごろ津波注意報発令に伴う沿岸調査中の海上保安官に発見され、22時00分ごろ、船長は、来援した海上保安庁のヘリコプターに救助された。</p>
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約89cm（名洗港）</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船のGPSプロッターは、整備業者が本事故前日の6日に修理を行っており、船長は、外川漁港沖で漂泊待機中、レンジを種々に変更するなどしてGPSプロッターの表示の確認を行っていたので、外川漁港に入港する際、同漁港の港口を表示させていなかった。</p> <p>船長は、沖消波ブロックの周縁に本件消波ブロックがあることを知っており、日頃、本件ブイを目視で確認し、本件ブイの西方を航行していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、外川漁港南方沖を同漁港に帰港しようとし、沖消波ブロックの西南西端の西方に向けて自動操舵で北東進中、船長が、日頃、目印としている本件ブイを目視で確認できず、航海計器に同漁港の港口を表示させるなどの操作を行い、見張りを行っていないことから、本件消波ブロックに接近し、本件消波ブロックに乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、外川漁港南方沖を同漁港に帰港しようとし、自動操舵で北東進中、船長が、日頃、目印としている本件ブイを目視で確認できず、航海計器に同漁港の港口を表示させるなどの操作を行い、見張りを行っていないため、本件消波ブロックに接近し、本件消波ブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・入港の際には、レーダー及びGPSプロッターを有効に活用できるように、早めに適切な表示に切り替えるなどの準備を行うこと。
-----------	--